

SUNTORY FLOWERS

トップ > 花苗・花鉢 > 花を育てる > 春夏商品の育て方 > ボンザマーガレットの育て方
ボンザマーガレットの育て方

基本的な情報

キク科アルギランセマム属

植え付け株数目安	丸鉢プランター：1株/24~30cm 横長プランター：2株/65cm 花壇：6~9株/1㎡
置き場所	半日以上、直射日光の当たる屋外
水やり	土の表面が乾いたら、鉢底から流れ出るまでたっぷりと
肥料	置肥、液肥を適宜
摘芯	不要
切り戻し	必要（整える）
夏越し	○
冬越し	可能（関東以西の温暖地域）

苗の植え付け

- ・植え付け株数目安を参考にプランターと土を用意して植え付けましょう。
- ・草花用培養土などの新しい土を使用しましょう。

[詳しく見る：「植え付け」](#)

肥料（追肥）

- ・植え付け時に土に含まれていた肥料は、徐々に効き目がなくなっていきます。花をたくさん咲かせるために、追肥として肥料を定期的に与えます。草花用の肥料をご用意ください。

[詳しく見る：「施肥（肥料やり）」](#)

【追肥の仕方】

- ・植え付けの約1ヶ月後から定期的に「置肥」をしましょう。（1ヶ月に1回が目安。）1ヶ月ほど経つと、置肥のかたまりが土にまだ残っていても効果はなくなっています。
- ・「液肥」を併用すると開花のパフォーマンスが高まります。液肥は植え付けの約2~3週間後から使用すると良いでしょう。

※お手持ちの肥料に記載されている肥料の使用法、濃度、頻度を参考にしてください。

※元肥が含まれていない土の場合は、植え付け時に土に元肥を混ぜ込んでおきましょう。

花が咲いてきたら

- ・咲き終わった花はマメに摘み取りましょう。花びらだけではなく、花茎ごと切り取ります。
- ・花をたくさん咲かせ続けるには肥料が大切です。引き続き追肥も忘れずに。

➡ 詳しく見る：「花から摘み」

形が乱れてきたら

- ・基本的には切り戻しをする必要はありませんが、形が乱れてきたら整える程度に切り戻しをしてもよいでしょう。

➡ 詳しく見る：「切り戻し」

夏越し

- ・夏を乗り切れば、秋、翌春も花を楽しめます。そのためには春に十分に肥料を与え、株にボリュームをつけることが大切です。夏越しを目指す場合は、盛夏期は直射日光の当たらない風通しのよいところでの管理をおすすめします。酷暑のダメージが強い場合、残念ながら秋に開花しないこともあります。翌春の開花を待ちましょう。
- ・温暖な地域では蒸れないようにコンパクトな形に切り戻すのもよい方法です。

冬越し

- ・霜や雪に当たると枯れてしまうこともありますので、注意が必要です。厳寒期の夜間は、軒下や屋内など霜や雪の当たらない場所に取り込むことをおすすめします。移動が困難な場合はビニールなどで覆って、冷風に当てないようにしましょう。
- ・春になり気温が高くなってきたら、少しずつ外気に慣らすようにし、日当たりのよい屋外に移動しましょう。
- ・真冬の肥料は控えめにしましょう。

霜よけの例



その他

花色について

気温などの環境により、花の形や大きさ、色が変わる場合があります。生育適温になる秋の低温期や春先には安定します。

関連コンテンツ



ボンザマーガレット 商品ラインアップ



花の育て方



ガーデニングQ&A



園芸用語辞典



動画を見る

このページを共有する

お酒に関する情報の共有は20歳以上の方に限られております。

商品

キャンペーン・エンタメ

おでかけ

レシビ・飲食店

環境

文化・社会・スポーツ

お問い合わせ

企業情報

ものづくり・品質

飲食店様へ

地域情報

工場見学

サントリー美術館

サントリーホール

登録無料で特典盛りだくさん



サントリーID

マイページ

新刊

メールマガジン 一覧 >

サントリー公式アカウント 一覧 >